

もうすぐ1学期が終わり、夏休みが始まります。生活リズムや食事の内容に気を配り、暑い夏を健康に乗りきりましょう。いつもよりたくさんの自由時間を有意義に過ごして、充実した夏休みにしてください。



熱中症に注意をしましょう

熱中症とは、暑さによって体の中のバランスが崩れたり、体温調節ができなくなったりすることで、様々な障害を引き起こす症状です。

○熱中症のリスクが高くなるのはこんな時です

気象 条件 ◆暑くなり始めの時期 ◆急に暑くなった日 ◆熱帯夜(最低気温 25°C以上 の夜)の翌日 体が急な暑さに対応 できず、体温調節が上手く できないため、熱中症に なりやすいです。	体調 ◆食事をきちんととっていない時 ◆風邪や下痢の後 ◆睡眠不足の時 食事や睡眠が不十分で体力が低下している 時や、風邪や下痢の後で脱水状態になって いる時は、熱中症のリスクが高まります。	環境 ◆気温が高い ◆湿度が高い ◆日差しが強い ◆風が弱い 炎天下だけでなく、室内でも熱中症は起 ります。特に、体育館を閉めきって行なう 部活動の練習では、こまめな水分補給と体調 の観察が大切です。
---	--	---

○熱中症を予防するためにできること

汗を吸いやすく通気性の良 い服を選ぶ。 	炎天下では帽子 をかぶる。 	涼しい場所で適度に休憩 をとる。体調の悪い時に は無理をしない。
こまめに水分補給をす る。(のどが渴く前に) 	規則正しい生活、バランスの 良い食事を心がける。 	

○熱中症はこんな症状です

<熱中症の始まり>

- ・手足のしびれ
- ・めまい、立ちくらみ
- ・こむら返り
- ・気分が悪い、ボーッとする

→ 涼しい場所で休憩をとり、
水分や塩分を
補給しましょう。

<さらに症状が進むと…>

- ・頭がガンガンと痛む
- ・吐気、嘔吐
- ・受け答えがおかしい

→ 足をあげて寝て、太い血管のある
首やわきの下、足のつけ根を冷や
しましょう。症状がよくならない
時は病院へ行きましょう。

健康で充実した夏休みをおくりましょう

○夏休みは治療のチャンスです！夏休み中に治療を済ませましょう。

- ・健康診断の結果、病院を受診するようお知らせをもらった人は、早めに受診して、
受診結果を学校に提出してください。



○生活リズムに気をつけましょう。

- ・毎日決まった時間に起き、日付が変わる前に布団に入るようになります。睡眠時間は7~9時間とるのが理想的です。
- ・1日3回バランスの良い食事をとりましょう。特に、朝ご飯をしっかりと食べることは、1日を元気に過ごすためのポイントです。
- ・部活動や勉強などで疲労がたまっている時には、休養や気分転換の時間を作りましょう。

○パソコンやスマホの使い方を考えましょう。

- ・就寝2時間前の、スマホの使用はひかえましょう。眠りが浅くなったり、寝つきが悪くなったりなど、睡眠に悪影響が出る恐れがあります。
- ・パソコンやスマホの長時間の使用は視力低下に繋がります。もう一度、使用時間を見直してみましょう。

